

船穂中タイムズ

平成29年7月5日発行
校長室だより No. 8

学校保健委員会がありました。

6月30日(金)、「骨の健康づくり」をテーマに、体育館で学校保健委員会が開かれました。

はじめに、骨の健康と関係が深い生活習慣や食事についてのアンケート調査の結果について、保健体育委員会・給食委員会の委員全員が分かりやすく発表しました。発表の仕方や態度も、とても立派でした。続いて、玉島保健推進室保健師の方から、骨の健康と睡眠の大切さについてお話をいただきました。特に、骨量をためるための3つのポイントについてのお話は、大変興味深かったです。そのポイントとは…

- ① カルシウムを含む栄養バランスのよい食事を3食とる。
- ② 適度な運動をする。骨に力が加わると電流が流れる。ジャンプが効果的。
- ③ 日光を浴びる。すると体内にビタミンDが作られる。

普段意識していない骨の健康について考える、よいきっかけとなりました。



学校評議員会 開催！

7月4日(火)、本年度第1回目の学校評議員会を開催しました。まず全学級の授業を参観していただきました。そして、本年度の学校経営方針等の説明の後、学校評議員の皆様から本校の教育について、様々な視点からご意見やご提言をいただきました。生徒の健やかな成長ため、さらに学校改善を進める上で参考にしてまいりたいと思います。

学校評議員の方々からいただいたご意見やご質問等の一部

< >内は学校からの説明

- ・ 落ち着いた雰囲気での学習に取り組んでいる。入学式や卒業式で生徒が大きな声で校歌を歌っていて感心している。
- ・ グループ学習やプログラム学習、環境学習等、昔と比べて授業の形態や内容が変わってきていて驚いた。授業の様子が分かってよかった。
- ・ 下駄箱で靴の踵がきちんと揃えられているところから、普段の生徒の落ち着いた生活ぶりが伺える。
- ・ 下校途中の生徒に「暗いから気を付けてね」と声をかけたところ、「ありがとうございます。」と答えてくれて感心したことがある。
- ・ 性の多様性についての学習を進めているが、もしスカートをはきたくないという生徒がいたらどうするか。
<この学習によって理解を深め、周りの生徒たちの相手を尊重したり受容したりする心を育てることが大切である。>
- ・ 「夏ボランティア」への参加者は減ってきているか。福祉センターでのボランティア希望者がここ数年いないので、希望者があればと願っている。<昨年の参加者数は20名程度であったが、今年は30名程度に増えている。>
- ・ 「船中タイムズ」に、生徒・保護者の意見等をのせることはあるのか。<生徒会が生徒の意見をまとめたものを、生徒総会の場で聞く機会がある。対応したことについては生徒に知らせるようにしている。また、保護者のご意見等については、学校アンケートでいただいたものを集計しまとめて、配付物でお知らせしている。いただいたご意見等を以後の教育活動に生かしている。>
- ・ 地域での清掃ボランティア活動を生徒会が主体的に行っているところが良いと思う。<今年は活動前に、地域の方から生徒に直接ねぎらいの言葉をかけていただいたことで、多くの生徒が自己有用感をもつことができたのではないかと。>
- ・ 生徒は、全般的におとなしく優しい。もう少し元気があってもよいのではと思う。小学校時から人間関係がほぼ同じであるからか。競い合ったり、立ち向かったりする気持ちを部活動等を通して育ててほしい。中学校を出てからも、新たな環境でしっかりやっていける力をつけてほしい。